

第4章 再生計画の具体化に向けて

1. 推進体制

再生計画の実現に向けて、推進体制を構築するとともに、幅広い多様な主体がそれぞれの役割を担い、関係者間との連携を図りながら進めていきます。

(1) 菱野団地再生計画推進協議会

菱野団地再生計画に位置付けた取組みを推進するため、菱野団地再生計画策定検討委員会の活動を継承し、住民代表・NPO法人・市民団体・学識経験者・民間企業・行政等、さまざまな主体で組織する「菱野団地再生計画推進協議会（以下、「再生協議会」という。）」を設立します。

再生協議会は、PDCAサイクルに基づき、取組みの実施状況や目標達成状況について評価・検証するとともに、社会情勢や住民ニーズの変化を把握し、計画の見直しを適切に行います。

(2) エリアマネジメント団体

これまでに実施した住民ワークショップの体制や成果を活かし、事業者や行政等と連携して地域課題の解決に取り組むため、自治会や地域力向上協議会などの住民をはじめ、NPO法人・市民団体や大学・学生、外国人等の幅広い多様な主体からなる「エリアマネジメントの準備会(任意団体)」を立ち上げます。

なお、収益事業や地域経営等による持続可能な取組みを実施するため、「エリアマネジメントの準備会」からNPO等の法人格を有する「エリアマネジメント団体」の設立を目指します。

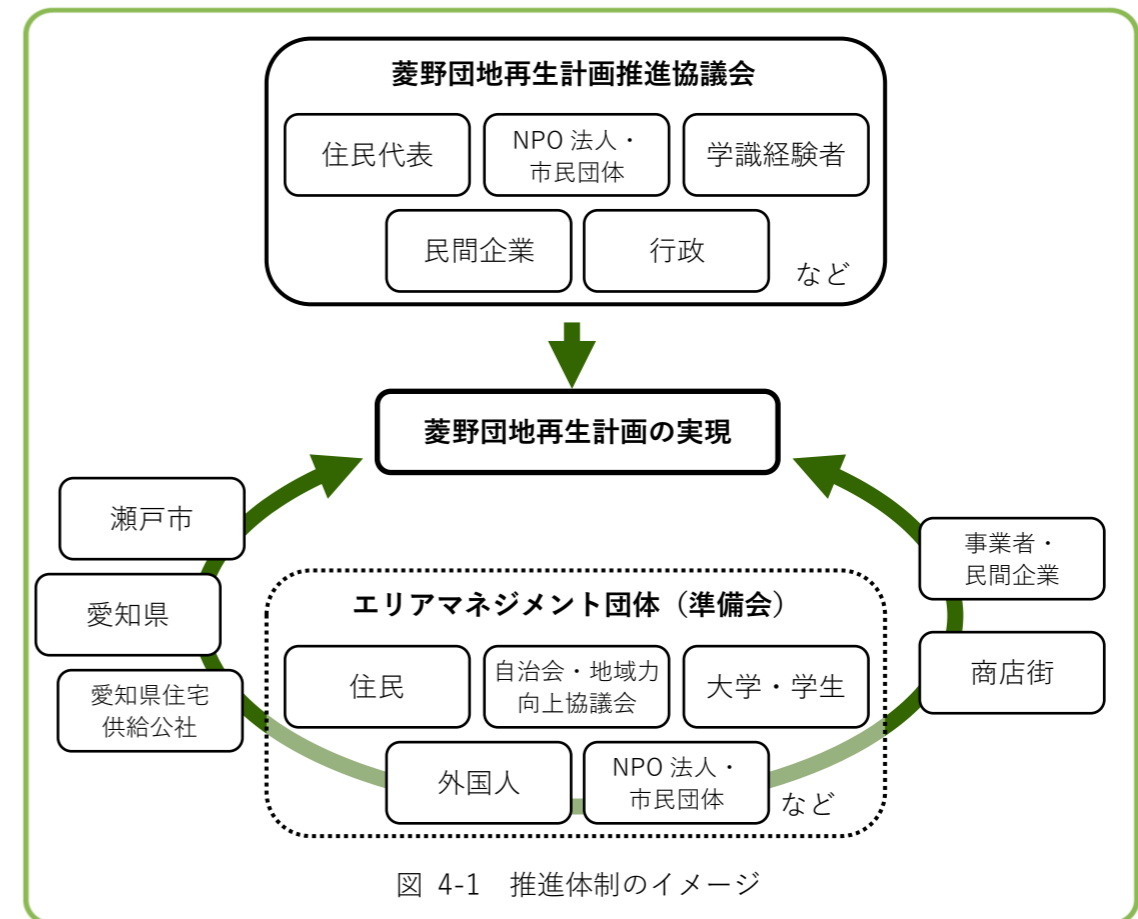


図 4-1 推進体制のイメージ

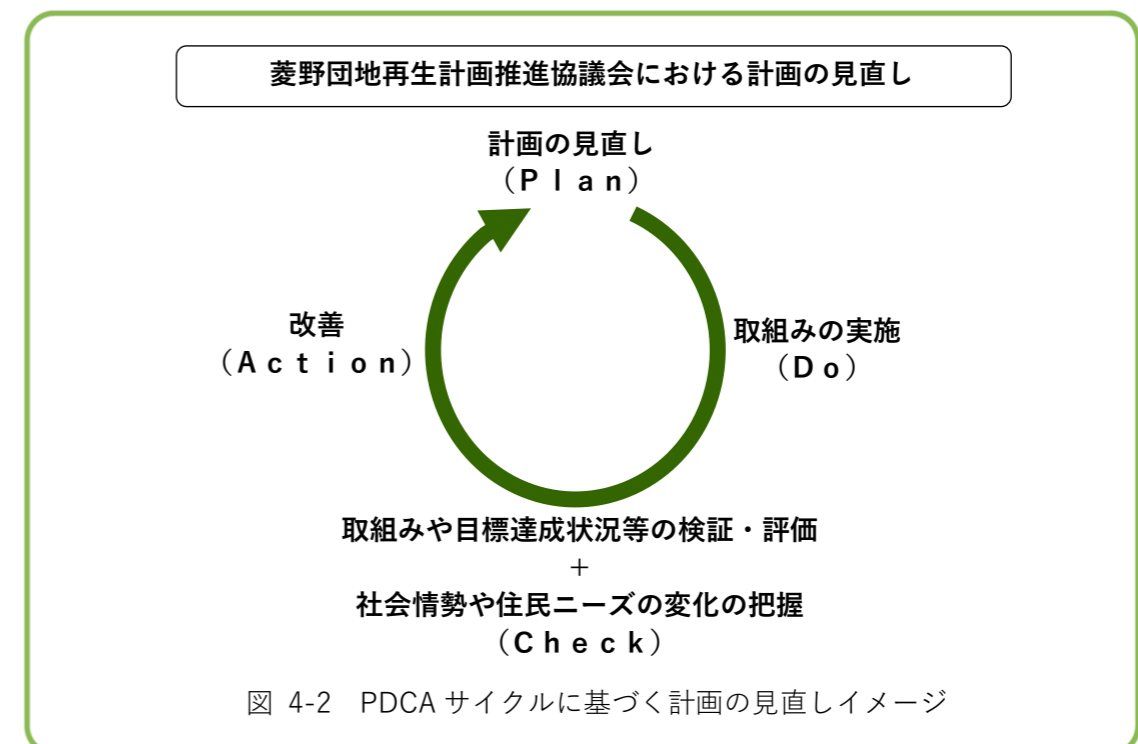


図 4-2 PDCAサイクルに基づく計画の見直しイメージ

空白ページ

2. 再生に向けた先行プロジェクト

再生に向けた3カ年の短期計画として、先行する具体的なプロジェクトを以下に示します。

先行プロジェクト	取組方針	主体	2018年度 の取組	短期（1～3年後）			中・ 長期 ～	
				2019年度	2020年度	2021年度		
(1) センター地区整備プロジェクト	1 空き店舗などの既存ストックを生かし、「学び・遊び・語り合い」など多様な活動ができる場所の創出を図ります。	市・再生協議会 ・エリアマネジメント団体	活動拠点 の検証		㉠ 活動拠点の整備			
	2 中央広場を誰もが気持ちよく利用できるよう、バリアフリー化などの環境整備を推進します。	市・再生協議会 ・エリアマネジメント団体	中央広場 の一部改修			㉡ 中央広場の改修		
	7 既存駐車場の利用状況を勘案し、駐車場の利用ルールづくりを推進します。	公社・市 ・再生協議会				㉢ 効率的な駐車場の活用		
(2) エリアマネジメント団体プロジェクト	3 住民・事業者・地権者などが主体となって、地域経営（エリアマネジメント）を積極的に行い、地域価値の向上を図ります。	市・再生協議会 ・エリアマネジメント団体	住民WS の実施	エリアマネジメントの準備会 活動継続	㉣ エリアマネジメント団体の設立			
	4 三台が共同で開催するイベントやまちづくり活動を企画し、センター地区の賑わいを創出します。	市・再生協議会 ・エリアマネジメント団体	菱野団地 わいわい フェスティバル		㉤ 収益事業の実施			
	11 恵まれた子育て環境、豊かな自然など、菱野団地のメリットを団地の外へPRし、子育て世代の転入を促進します。	エリアマネジメント団体 ・事業者	Facebook, 口コミ等 情報発信		㉥ エリア再生マネージャーの派遣			
	12 子育て支援の充実や教育環境の改善を図り、心安らぐ場所づくりを推進します。	エリアマネジメント団体 ・事業者			㉦ センター地区賑わい創出事業			
	16 高齢者が気軽に集うことのできる居場所をつくるなど、福祉サービスの充実を図ります。	エリアマネジメント団体 ・事業者			㉧ ICTを活用したプロモーション			
	19 子どものいる外国人の保護者が悩みごとを相談しやすい窓口を設けるなど、支援体制の構築を図ります。	エリアマネジメント団体 ・事業者			㉨ 親と子どもの居場所づくり			
	18 既存交通と連携し、住民バスのサービス向上を図りながら、高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段の確保を図ります。	市・運行協議会	住民バス 運行再開		㉩ 高齢者の居場所づくり			
(3) 住民バスプロジェクト				㉪ 運営体制の構築	㉫ 自家用有償旅客運送への移行			
(4) 空き家利活用プロジェクト	14 空き家となった戸建て住宅のリノベーションなどを行い、居住環境の更新を図ります。	市・自治会・ 所有者・事業者			㉬ 空き家実態調査			
						㉭ 空き家情報バンクの活用		
(5) 県営住宅更新プロジェクト	15 共同住宅の戸数の見直しを図り、土地や建物を有効に活用します。	県・事業者			㉮ 民間活力の導入を含めた計画的な県営住宅の建替、改善			

空白ページ

空白ページ

先行プロジェクトの取組内容

(1) センター地区整備プロジェクト

① 活動拠点の整備

菱野団地センター地区の空き店舗等の既存ストックを活用し、地域課題の解決や地域経営等を行うエリアマネジメント団体の活動拠点を整備します。

また、活動拠点には、子どもから高齢者や外国人までの多様な人々が、学んだり、遊んだり、語り合うことができる交流スペース等を整備し、エリアマネジメント団体プロジェクトの取組みの場として活用します。

(取組み例)

- ・ エリアマネジメント団体の活動拠点（事務局機能）の整備
- ・ 誰もが利用できる多目的トイレの整備
- ・ コミュニティカフェスペースの整備
- ・ キッズスペースや室内遊具の整備

菱野第3住宅空き店舗を活用した住民ワークショップの活動拠点の検証



グルッポふじとう（春日井市）「コミュニティカフェ」
（出展：春日井市 高蔵寺まなびと交流センター）



② 中央広場の改修

菱野団地中央広場に集まる人々が休憩したり、語り合うことができる環境を整備します。また、子どもからお年寄りまでの多世代が交流できる空間を設けるとともに、バリアフリーに配慮した誰もが利用しやすく、利用したくなる中央広場への改修を進めます。

なお、改修にあたっては住民ワークショップで取り組んだように、住民と大学・学生等との協働による取り組みを進めます。

(取組み例)

- ・ パーゴラやベンチなどの改修
- ・ 市民農園や芝生広場の整備
- ・ イベントスペースの整備
- ・ 住民バスのバス停留所の整備
- ・ 広場のバリアフリー化

住民ワークショップメンバーや愛知県立芸術大学等との協働でのパーゴラやベンチ等の一部改修



ホシノタニ団地（座間市）「テラス・農園・芝生広場等」
（事業主:小田急電鉄株式会社 提供:ブルースタジオ 写真:高岡弘）



◎ 効率的な駐車場の活用

センター地区における既存駐車場の駐車需要の把握を行い、民間活力を活かしたコインパーキング等の導入により、効率的な駐車場の活用を推進します。

(取組み例)

- ・ 菱野センター第1駐車場の活用

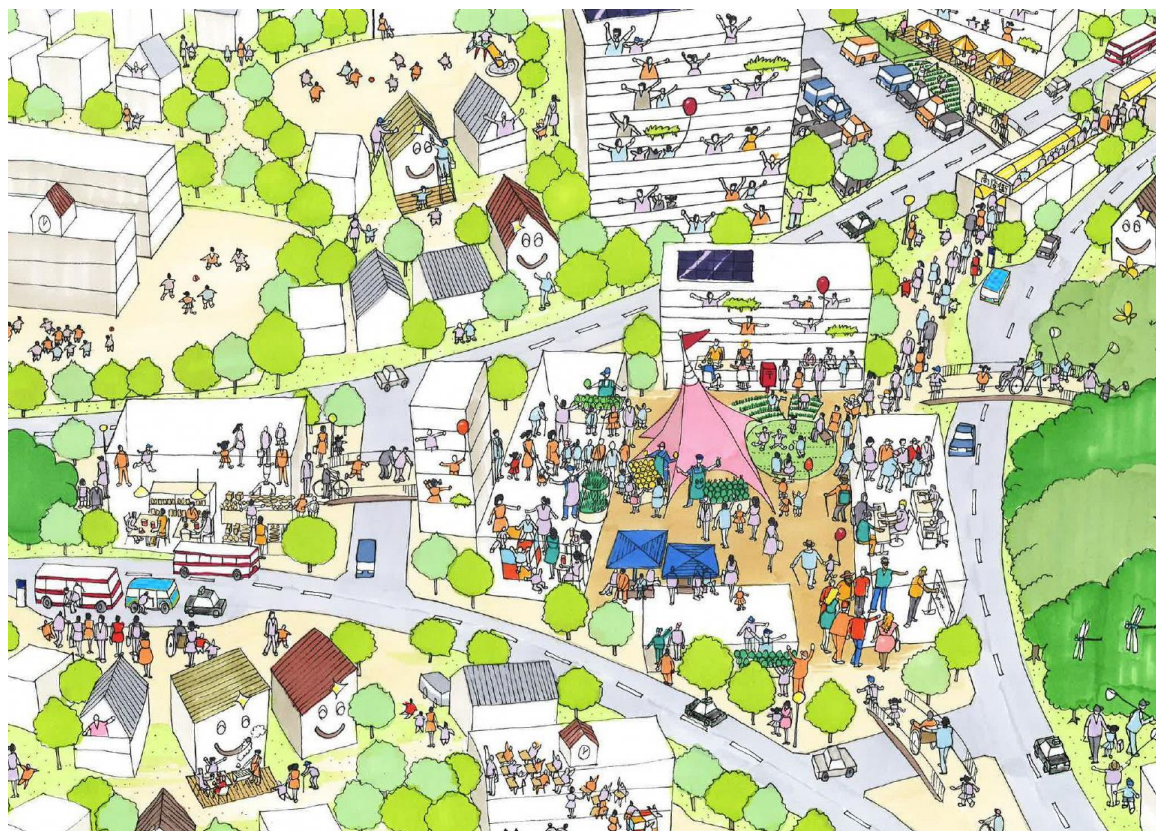
菱野団地住民バス駐車場としての活用



三井のリパーク（名古屋市）「環境配慮や災害支援等に対応した駐車場」
(出展：三井不動産リアルティ株式会社)



(1) センター地区整備プロジェクトのイメージ



(取組み例 (再掲))

① 活動拠点の整備

- ・ エリアマネジメント団体の活動拠点の整備
- ・ 誰もが利用できる多目的トイレの整備
- ・ コミュニティカフェスペースの整備
- ・ キッズスペースや室内遊具の整備

② 中央広場の改修

- ・ パーゴラやベンチなどの改修
- ・ 市民農園や芝生広場の整備
- ・ イベントスペースの整備
- ・ 住民バスのバス停留所の整備
- ・ 広場のバリアフリー化

③ 効率的な駐車場の活用

- ・ 菱野センター第1駐車場の活用

(2) エリアマネジメント団体プロジェクト

これまでに実施した住民ワークショップの体制や成果を活かし、事業者や行政等と連携して地域課題の解決に取り組むとともに、地域の資産や価値を高めるため、自治会や地域力向上協議会などの住民をはじめ、大学・学生や外国人等の幅広い多様な主体からなる「エリアマネジメントの準備会」(任意団体)を立ち上げます。

さらに、収益事業や地域経営等による持続可能な取組みを実施するため、NPO等の法人格を有する「エリアマネジメント団体」の設立を目指します。

④ エリアマネジメント団体の設立

(取組み例)

- ・ エリアマネジメントの準備会(任意団体)の立ち上げ
- ・ NPO等の法人格を有するエリアマネジメント団体の設立

④ 収益事業の実施

(取組み例)

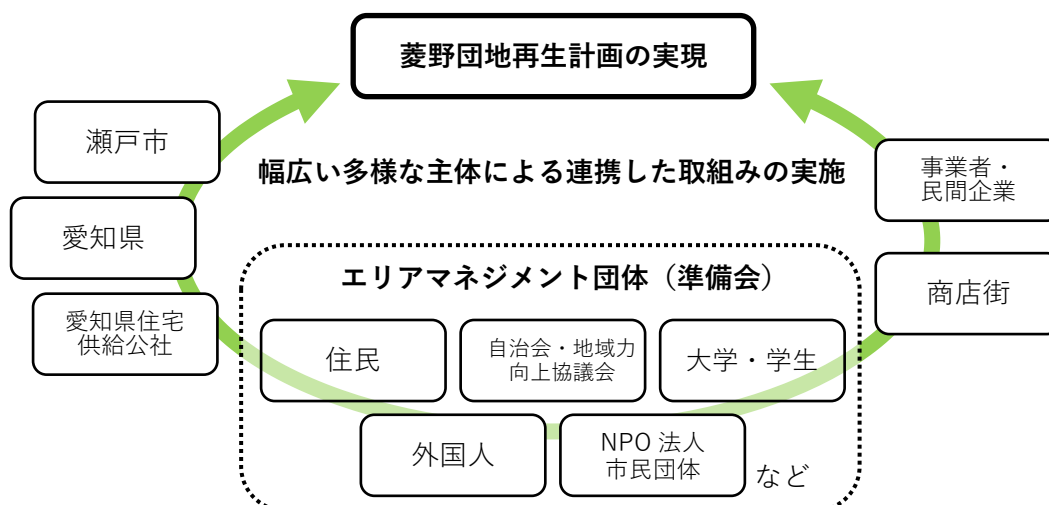
- ・ 公共施設や公共空間の管理、運営の受託
- ・ 買い物や配食等の生活支援サービスの提供
- ・ 交流スペースやイベントの運営
- ・ 住民ニーズに応じたコミュニティビジネスの実施

④ エリア再生マネージャーの派遣

(取組み例)

- ・ 知識、ノウハウを有するエリア再生マネージャーの招聘

エリアマネジメント団体(準備会)と取組みのイメージ



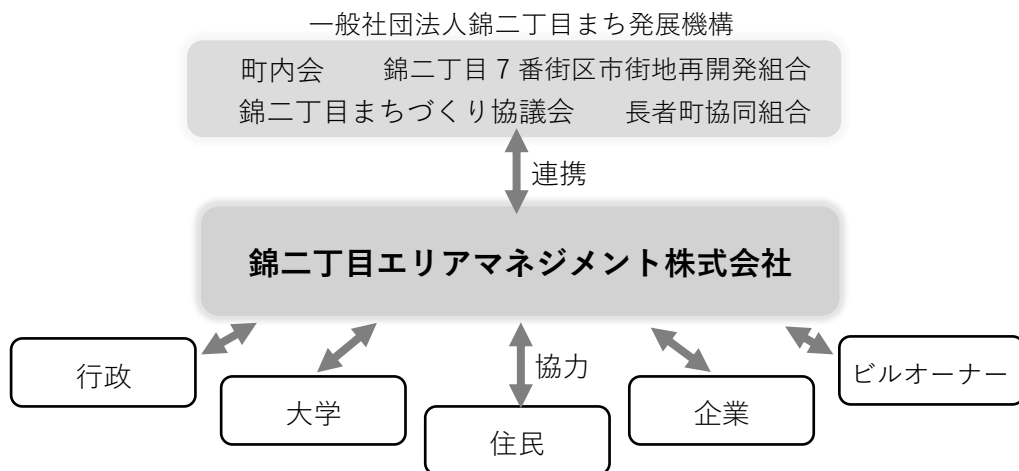
錦二丁目・長者町地区のまちづくりの事例（名古屋市）

（出展：錦二丁目エリアマネジメント株式会社資料）

名古屋市錦二丁目・長者町地区では、2018年3月に町内会やまちづくり協議会、協同組合（地域の企業からなる団体）が主体となって「錦二丁目エリアマネジメント株式会社」を設立しました。

これまでに地域主体でまちづくりの構想づくりをしながら、イベントの実施や歩道空間を広げる社会実験等の多様な実践活動が行われてきました。新しい状況のもとで、これからも様々な人と連携しながら、思考と試行を重ね、アイデアをビジネスに結び、利益をまちの事業に還元する企業として、まちの運営をお手伝いするエリアマネジメント会社です。

エリアマネジメント株式会社と関係団体の体制図



エリアマネジメント株式会社の主な事業

7番街区再開発地区におけるまちの拠点運営 コミュニティの場づくりとその運営によりひとやまちをつなぎます
公共空間の活用と維持管理 道路をはじめとした公共空間を活かしまちの賑わいを生み出します
既存空間のリノベーション支援事業 暮らしやアート、しごと作りを含む古いビルの活用をお手伝いします
コミュニティ支援事業 町内会や組合と協力し、安全で経済的なまちのコミュニティを支えます

取組み事例



イベント（ゑびす祭り+あいちトリエンナーレ）



歩道空間を広げる社会実験（2014）



公開空地でのベンチの設置と維持管理（2017）

⑤ センター地区賑わい創出事業

三台が一体となってセンター地区での賑わいを創出するため、エリアマネジメント団体が主体となり、商店街や事業者等との協働による多世代が交流できるイベントや空き店舗を活用した催しなどを計画・実施します。

(取組み例)

- ・ 菱野団地わいわいフェスティバルの開催
- ・ マルシェやフリーマーケット等の定期的な開催
- ・ 市民農園等の設置・運営や収穫祭の開催
- ・ ミニ映画上映会の実施

菱野団地わいわいフェスティバルの実施



UR 日の里団地（宗像市）「団地の農場 日の里ファーム」
（提供：UR 都市機構九州支社）



高蔵寺ニュータウン（春日井市）「押沢台ぶらぶらまつり」

（出展：第3回「住宅団地再生」連絡会議資料）

春日井市押沢台北町内会が実施するまちづくりの取組み

それぞれの家が一日だけカフェやギャラリーやお店屋さんになってみんなで町中をブラブラするおまつり。その日は町並が華やぎ、町が少しだけにぎやかになります。そして、町のそこかしこにステキな出会いと楽しいひと時が生まれます。

愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンの一角、押沢台地区の押沢台北町内会（320戸）の親睦事業として、平成24年、「町内をブラブラしてラブラブのまちに！」をスローガンに、家を開放して訪問者を迎えようとして始まったまつりです。ここ押沢台地区は典型的な住宅地で、高齢化も進み、住民同士の交流、つながりが大切であるという思いは皆同じでした。そこで、それぞれの家の人の趣味や特技を生かして、駐車場や庭、家の中に、思い思いの形で実施しています。



〈庭で〉 オープンガーデンとリース作り教室



〈庭で〉 石釜で焼くピザ屋さん



〈庭で〉 習字教室の作品展示



〈庭で〉 ガーデンカフェ



〈庭で〉 手打ちそば屋さん



〈駐車場で〉 酒屋さんのビアガーデン



〈駐車場で〉 ガレージセール



〈駐車場で〉 手作り雑貨屋さん



〈駐車場で〉 ガレージセール



〈家の中で〉 ちりめん細工ギャラリー



〈玄関の中で〉 コレクションの洋画ギャラリー



〈家の中で〉 切り絵作品ギャラリー

⑤ ICT を活用したプロモーション

子育て世代の転入をはじめとする定住や交流を促進するため、充実した子育て環境や豊かな自然環境などの菱野団地の魅力やまちづくりの取組みについて、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）などの活用によるプロモーションを行います。

また、健康づくりや子育て、防犯等のさまざまな分野において、住民の生活利便性の向上を図るため、人・モノのつながりの拡充を可能とする ICT（情報通信技術）を活用した取組みを展開します。

（取組み例）

- ・ SNS やホームページなどによる魅力発信
- ・ 健康増進、外出支援、見守り、子育て支援等をサポートする ICT を活用した仕組みづくり

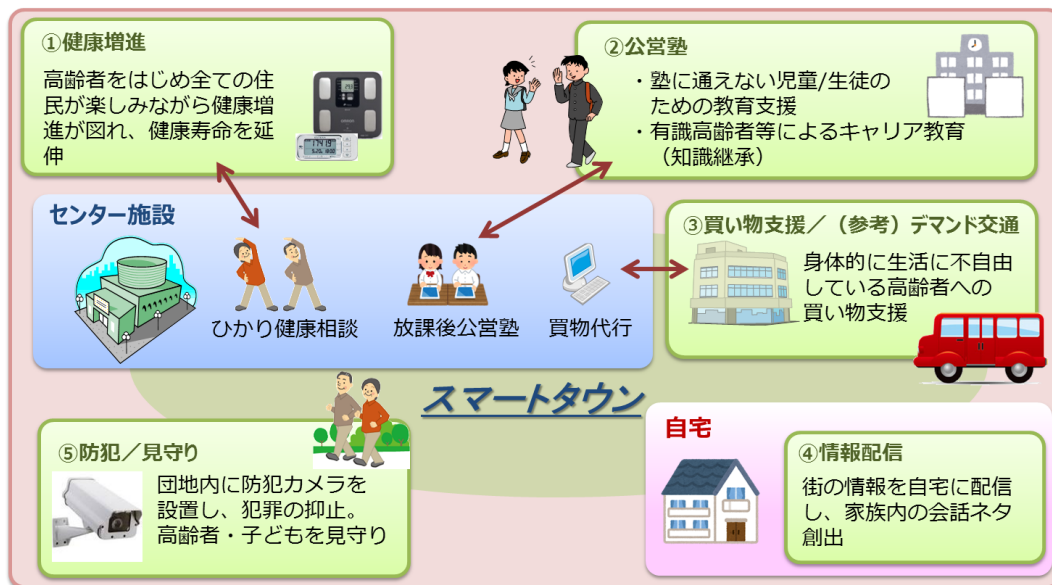
菱野団地再生に向けた ICT 活用の提案

（出展：西日本電信電話株式会社）

菱野団地再生に向けたICT活用イメージ

NTT西日本 名古屋支店

- センター施設を中心にICTを活用し、住民（高齢者・若者・児童）／民間（NPO等）／行政が連携し、「安心して子育てができ」、「住民が自立し支え合う」新たな団地づくりを提案します。
- 具体的には、①健康づくり、②公営塾（児童・生徒振り返り学習、有識高齢者の知識継承によるキャリア教育）、③買い物支援、④情報配信、⑤防犯／見守りに取り組む事を提案します。



㊄ 親と子どもの居場所づくり

子育て世代が安心して子育てでき、子どもや若者が健やかに育つ環境を構築するため、新たに整備する活動拠点や空き店舗などを活用して、親や地域で活躍する高齢者（アクティブシニア層）等による子育てを支援する環境づくりを進めます。

また、子育て支援の充実を図るとともに子どもにとってより良い遊び場や子どもや若者にとって居心地の良い場所を確保し、子どもと親がお互いに安心して笑顔で生活できる地域づくりを進めます。

(取組み例)

- ・ 育児サロンや地域子育てサロンの充実
- ・ モアスクールや放課後児童クラブの充実
- ・ 子育てに関する地域相談窓口の設置
- ・ 子ども食堂の開催
- ・ 子どもや若者が気軽に立ち寄れる居場所づくり

八幡保育園での地域子育てサロンの様子



グループふじとう（春日井市）「子どもの部屋」
（出展：春日井市 高蔵寺まなびと交流センター）



⑧ 高齢者の居場所づくり

既存の NPO 法人や新たなエリアマネジメント団体による高齢者向けサロンの運営等、センター地区などで高齢者がいきいきと暮らせる居場所づくりを進め、福祉サービスの充実を図ります。

また、地域で活躍する高齢者（アクティブシニア層）等の活躍の場を提供することで、地域全体でお互いに支え合う仕組みづくりに取り組めます。

(取組み例)

- ・ 健康講座や介護予防教室等の開催
- ・ いきいきサロンやふれあい会食の実施
- ・ 子どもや若者との交流会の開催
- ・ 囲碁や将棋等を行う交流空間づくり
- ・ 移動販売車等の買い物支援

名古屋学院大学の指導による健康教室の様子



福祉等の相談窓口コーナーの設置

(出展：ソーネおおぞね (NPO 法人わっぱの会))

☺ ソーネそうだん

「地域の駆け込み寺」として、小さなお困り事から専門家が寄り添って解決。いつでも気軽にご相談ください。

営業時間 10:00~17:00

面接相談 水・土曜日

定休日 火曜日

相談内容 生活 仕事 福祉 など



① 外国人の相談窓口の設置

多様な文化や生活の違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら共に生活できるような地域づくりを推進するため、子どもを持つ外国人等の生活支援とコミュニケーション支援の構築を図ります。

(取組み例)

- ・ 外国語や簡単な日本語で相談できる窓口の設置
- ・ 多様な言語、媒体による生活情報の提供
- ・ 地域での日本語教室の充実
- ・ 外国人の子育てサロン
- ・ コミュニケーションを支える携帯アプリ等のツールの充実

NPO によるこども日本語教室（原山台）

Kodomo Nihongo Class Harayama

[4/1～9/30, 2018]

クラス(Class)	毎週火曜日 (every Tuesday) 16:00～18:00 (小学校1年生は 16:00～17:00、2～6年生は 16:00～17:30)
場所 (Location)	原山台集会所 (Harayamadai-shukaijo)
参加費 (Fee)	無料 (free)
Classe	aos Terças 16:00～18:00 escola primária série 1 16:00～17:00 escola primária série 2～6 16:00～17:30
Local	Harayamadai-Shukaijo (Ao lado de Maki-Yochien)
Preço	Grátis
Clases	Los días martes 16:00～18:00 1 año escolar 16:00～17:00 2～6 año escolar 16:00～17:30
Lugar	Harayamadai-Shukaijo (al costado de Maki-Yochien)
Precio	Gratis

日本語教室の開催

(提供：群馬県大泉町役場)



(3) 住民バスプロジェクト

センター地区付近への買い物や通院・通所等への団地内の生活交通を確保するとともに、団地外との交流を促進するため、名鉄バスやタクシー等の既存交通と連携して、住民バスのサービス向上を図ります。また、センター地区整備プロジェクトやエリアマネジメント団体プロジェクト等のまちづくりと連携した交通ネットワークを構築します。

持続可能な住民バスの運行に向けて、自家用有償旅客運送への移行を目指します。

① 運営体制の構築

(取組み例)

- ・ NPO 法人化による運営体制の強化
- ・ 有償ボランティア運転手等の担い手の確保

② 自家用有償旅客運送への移行

(取組み例)

- ・ 民間企業等からの広告収入や協賛金の募集
- ・ 年間パスポート等による受益者負担の仕組みづくり
- ・ 利用者ニーズに応じた運行内容の改善

菱野団地わいわいフェスティバルでの特別運行



(4) 空き家利活用プロジェクト

空き家等の存在や実態を把握し、所有者の協力のもと、地域資源として利活用することで居住環境の向上を図ります。

また、団地内外からの新たな住民の転入や住み替えを促進するため、瀬戸市空き家情報バンクへの登録や不動産業者の媒介による中古住宅流通の仕組みづくり、居住支援法人等による支援の促進などの新たな居住をもたらす取組みを進めます。

① 空き家実態調査

(取組み例)

- ・ 地域住民による空き家等の実態調査
- ・ 空き家等の管理体制の構築
- ・ ホットとできる井戸端空間やバス待合空間としての活用

② 空き家情報バンクの活用

(取組み例)

- ・ 空き家情報バンクの充実
- ・ 空き家情報の発信や空き家見学会の実施
- ・ 不動産業者や居住支援法人との協力体制の構築
- ・ 民間活力によるリフォームやリノベーションの促進

空き家を活用したバス待ちサロン（豊田市）「ちょっとよって館」



空き家情報バンク



空き家見学会



(5) 県営住宅更新プロジェクト

㊦ 民間活力の導入を含めた計画的な県営住宅の建替、改善

民間活力の導入を含めた計画的な県営住宅の建替、改善により、住宅戸数の見直しや機能集約を図ります。なお、建物や土地の集約に伴い生じる空地においては、居住の好循環をもたらす土地の有効利用を図ります。

既存県営住宅の耐震性強化や外装の更新、バリアフリー化等の実施により、居住環境の改善を図ります。

(取組み例)

- ・ PFI や PPP 等の民間活力の導入による建替事業等の実施
- ・ 居住の好循環をもたらす土地の有効利用
- ・ 耐震性強化の実施
- ・ 外装の更新
- ・ バリアフリー化の実施

建替が進む原山台の県営住宅



PFI 方式による県営住宅の建替事業（愛知県営東浦住宅）

（出展：愛知県建設部建築局公営住宅課）

「愛知県営東浦住宅 PFI 方式整備等事業」

（事業方式）

PFI 法に基づき、特定事業者が自らの提案を基に施設の設計及び建設を行った後、県に施設の所有権を移転する方式（BT：Build Transfer）により整備を行う本体事業（特定事業）と、用地活用企業が民間施設などの整備を行う付帯事業を一体的に実施

（事業提案の概要）

- ・ 県営住宅（280 戸）の整備
- ・ 既存県営住宅の解体撤去
- ・ 用地活用（付帯事業：保育所、多機能型事業所、戸建住宅、多目的広場の整備）

県営住宅のイメージ図



事業全体の鳥瞰図



※イメージ図及び鳥瞰図は、事業提案に基づく現時点でのイメージであり、今後変更される場合があります。

空白ページ

3. 再生に向けた中・長期計画

先行プロジェクトをさらに発展させ、中長期的に取り組んでいく内容を以下に示します。

基本方針	取組方針	主体	短期 (1~3 年後)	中期 (4~7年後)	長期 (8~10年後)	~
①センター地区を活用した 交流拠点づくり	5 センター地区における居住機能や商業機能の再配置を検討し、センター機能の強化やアクセスの改善を図ります。	公社・市 ・再生協議会	① センター機能の強化やアクセスの改善 現況調査、課題整理	民間活力の活用検討	取組みの実施	
②安全・安心に暮らせる 環境づくり	6 道路や宅地の状況を考慮し、外周道路や主要道路における駐車環境の改善を図ります。	エリアマネジ メント団体 ・自治会・公社 ・市・再生協議会 ・事業者（県）	② 駐車環境の改善 現況調査、課題整理	改善策の検討	改善の実施	
	8 誰もが安全に移動できるよう、回廊式の歩道橋などの整備・修繕を進めます。	市・再生協議会	③ 回廊式の歩道橋などの整備・修繕 現況調査、課題整理	整備・修繕手法の検討	整備・修繕の実施	
	9 夜間における歩行者の安全確保や地域の防犯性向上を図るため、防犯灯や防犯カメラなどの施設整備を進めます。	市・自治会 ・再生協議会	④ 防犯灯などの施設整備 現況調査、課題整理	整備手法の検討	整備の実施	
	10 緑豊かな環境を維持するため、緑地の適正な保全・活用や、良好な景観づくりを推進します。	市・自治会 ・再生協議会	⑤ 緑地などの環境整備・活用・景観形成 現況調査、課題整理	取組みの検討	取組みの実施	
	③若い世代に住みたいと 選ばれる団地づくり	13 子どもが安心してのびのびと学び、遊ぶことができるよう、都市施設の再整備を進めます。	市・再生協議会	⑥ 小中一貫教育 課題整理	取組みの実施	
④高齢者がいきいきと 暮らせるまちづくり	17 基幹バスやタクシーなどの利便性向上を図るため、住民・交通事業者・行政が協働して公共交通の維持・活性化を図ります。	市・再生協議会 ・交通事業者 ・運行協議会	⑦ 適正配置 現況調査、課題整理			
			⑧ 公園などの改修 現況調査、課題整理	整備方針の検討	整備の実施	
④高齢者がいきいきと 暮らせるまちづくり	17 基幹バスやタクシーなどの利便性向上を図るため、住民・交通事業者・行政が協働して公共交通の維持・活性化を図ります。	市・再生協議会 ・交通事業者 ・運行協議会	⑨ 公共交通の維持・活性化 課題整理	改善策の検討・実施		
			⑤多文化共生の地域づくり	20 外国人居住者などとの多文化共生を推進するため、グローバルリーダーの発掘と育成を進めます。	エリアマネジ メント団体 ・自治会	⑩ グローバルリーダーの発掘と育成 課題整理

空白ページ

中・長期計画の取組内容

① センター地区を活用した交流拠点づくり

㉑ センター機能の強化やアクセスの改善

・センター地区における民間活力の活用を検討し、空き店舗の活用やアクセスしやすい環境整備を進めます。



・テナントの誘致

・アクセスの改善

② 安全・安心に暮らせる環境づくり

㉒ 駐車環境の改善

・センター地区や住宅地周辺の安全・安心な環境を創出するため、路上駐車対策等を進めながら、不足している駐車場の確保や、カーシェアリングの実証実験等を進めます。

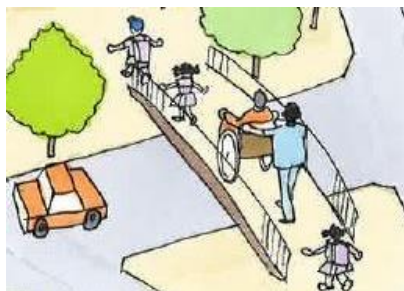


・不足している駐車場の確保



・車椅子でも利用しやすい駐車スペース

㉓ 回廊式の歩道橋等の整備・修繕

・センター地区へのアクセスを確保し、安全性・利便性の向上を図るため、歩道橋等の点検や修繕、段差解消や手すりの設置などのバリアフリー化を進めます。



・安全に渡れる歩道橋

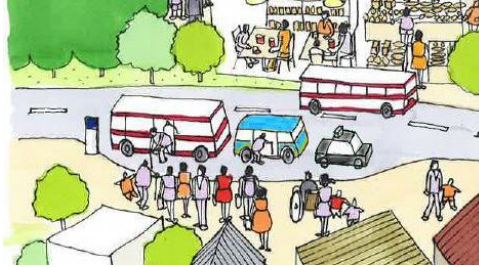
<p>④</p> <p>防犯灯等の施設整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民や来訪者などが安心して生活、交流できるよう、歩道や広場等への防犯灯や夜間対応機能のある防犯カメラなどの設置を進めます。  <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>歩道等の公共区間を照らす防犯灯や防犯カメラ</u>
<p>⑤</p> <p>緑地等の環境整備・活用・景観形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の庭やちびっこ広場等の身近な緑やセンター地区周辺や外周にある緑について、住民や事業者などとの協働によって維持、活用し、緑豊かな環境と景観づくりを推進します。 ・豊かな自然を活かした環境教育を実施します。  <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ビオトープを使った環境教育</u>

<p>③ 若い世代に住みたいと選ばれる団地づくり</p>	
<p>⑥</p> <p>小中一貫教育</p> <p>適正配置</p> <p>公園等の改修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の実施や学校の適正配置の検討等により、子どもたちがのびのびと学ぶことができる環境づくりを進めます。 ・豊かな自然に囲まれた住環境を活かしつつ、子どもたちがボール遊びのできる公園や広場の改修や、子どもからお年寄りまで多様な世代が交流できる環境づくりを進めます。   <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>小中一貫教育</u> ・ <u>適正配置</u> ・ <u>ボール遊びのできる公園</u>

④ 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

⑧
公共交通の
維持・活性化

・通勤、通学や買い物、通院、通所等の日常生活における団地内外への移動を確保、維持するため、住民のニーズに応じた運行ダイヤ等の見直しを進めるとともに、乗継環境の改善等により、バスやタクシー等の公共交通の利便性の向上を図ります。



・乗り換え利便性の高い乗継拠点

⑤ 多文化共生の地域づくり

⑨
グローバル
リーダーの
発掘と育成

・外国人居住者の地域参加を促し、地域住民の一員として主体的に活動できるよう、外国人と日本人の橋渡し役となるようなグローバルリーダーの発掘と育成を進めます。



・外国人が講師のセミナー

4. 目標

再生に向けた取組の推進により達成を図る目標を以下に示します。

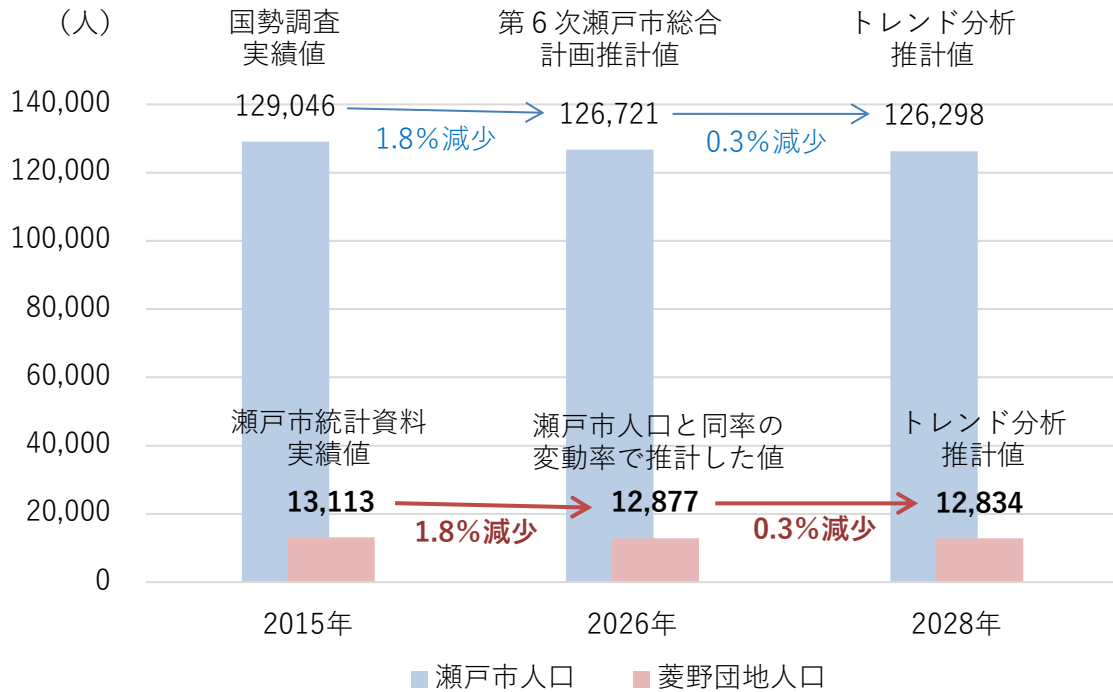
(1) 成果指標と目標値

指標番号	分野	成果指標	基準値	目標値 (2028年度)	目標値の考え方
①	人口	総人口	13,113人 (2015年)	12,834人	居住の循環を図る施策を講じ、急激な人口減少に歯止めをかけ、第6次瀬戸市総合計画で目標としている将来人口と同様の推移を目指す。
②		40歳未満人口の割合	33.5% (2015年)	33.5%以上	若い世代の流入を図る施策を講じて、人口構成の世代間バランスをとり、現状値以上を目指す。
③	住宅流通	戸建住宅の空き家率	2.6% (2015年度)	2.6%以下	戸建空き家の流通促進により、現状値以下を目指す。
④	交通	公共交通の人口カバー率	100% (2018年度)	100%	現状の人口カバー率の維持を目指す。
⑤	情報発信	ホームページへのアクセス件数	2,031件 (2017年)	10,000件以上	専用SNSの作成等により、現状のホームページアクセス数の約5倍の件数を目指す。
⑥	住みやすさ	菱野団地に対する満足度	3.07ポイント (2017年度)	3.07ポイント以上	菱野団地にお住まいの方へのアンケートにおける菱野団地に対する18項目の満足度の平均値について、現状の満足度以上を目指す。
⑦	定住意向	居住意向	56.8% (2017年度)	81.7%	菱野団地にお住まいの方へのアンケートにおける居住意向について、第6次瀬戸市総合計画で目標としている指標値を目指す。

(2) 基準値と目標値の設定根拠

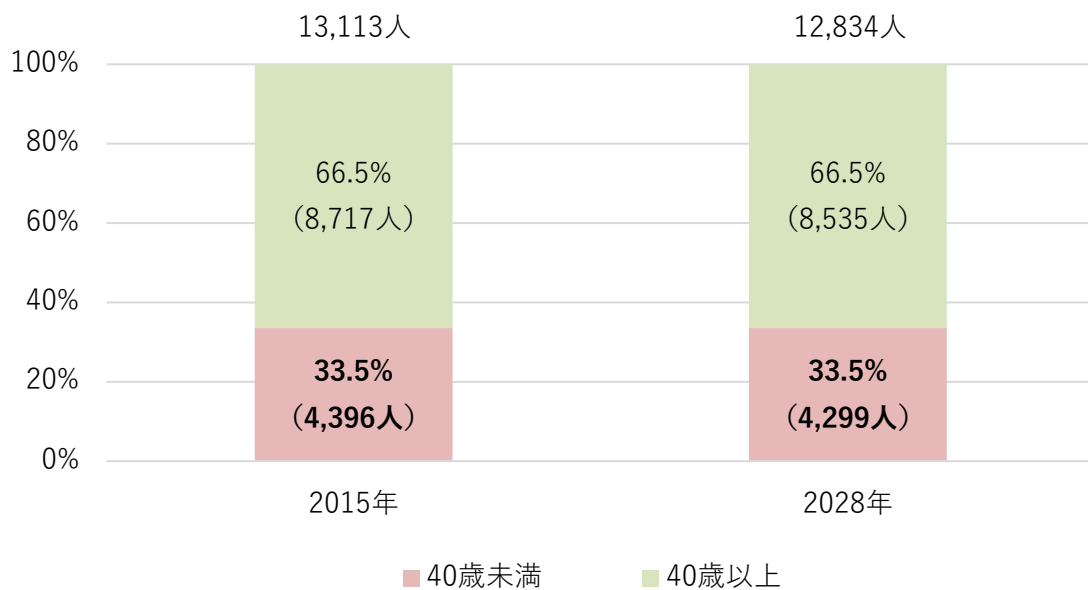
① 総人口

居住の循環を図り、第6次瀬戸市総合計画で目標としている将来人口と同様の人口推移を目指す。



② 40歳未満人口の割合

40歳未満人口の割合は、2015年時点で33.5%となっている。人口構成の世代間バランスをとれるよう若い世代の流入を図る施策を講じて、現状値以上を目指す。



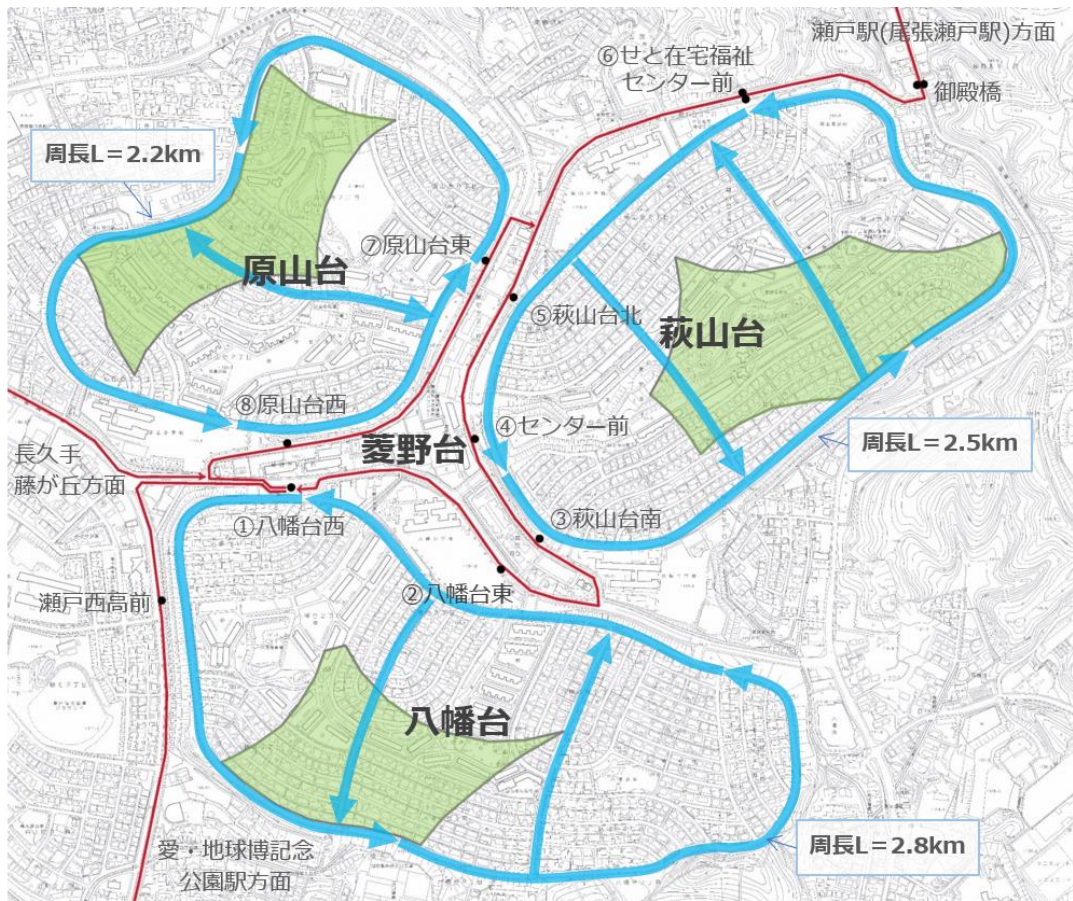
③ 戸建住宅の空き家率

中古住宅の流通促進を図り、空き家調査結果（2015年）の空き家率以下を目指す。

連区	調査結果（2015年）			空き家率の目標値 （2028年）
	空き家と思われる対象建物	対象建物	対象建物に対する空き家と思われる建物の割合	
原山台	34	855	3.98%	—
萩山台	30	1,227	2.44%	—
八幡台	33	1,653	2.00%	—
合計	97	3,735	2.60%	2.60%以下

④ 公共交通の人口カバー率

名鉄バス及び住民バスの運行を維持、活性化することにより、100%を維持する。



- ➡ 菱野団地住民バスルート
- ➡ 名鉄バスルート
- 名鉄バス停留所
- 公共交通空白地域（鉄道駅から半径 800m、名鉄バス停留所から半径 300mの範囲外の地域）

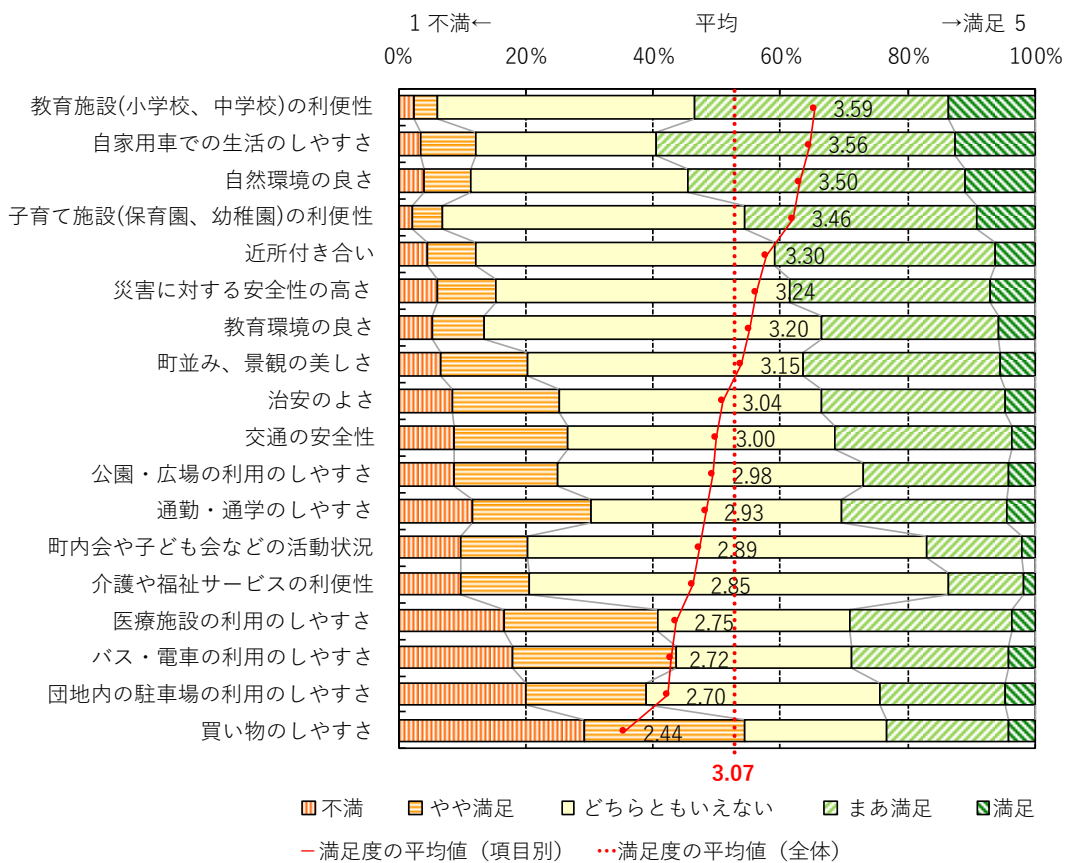
⑤ ホームページへのアクセス件数

専用 SNS 等を用いて、菱野団地のあらたなまちづくりに関する情報を多方面に発信することで、現状のホームページアクセス数の約 5 倍のアクセス数を目指す。

媒体	2017 年	2028 年
ホームページ	2,031 件	10,000 件

⑥ 菱野団地に対する満足度

生活利便性の向上を図り、菱野団地にお住まいの方へのアンケート（2017 年度）における菱野団地に対する満足度の平均値（全体）において、現状の満足度以上を目指す。

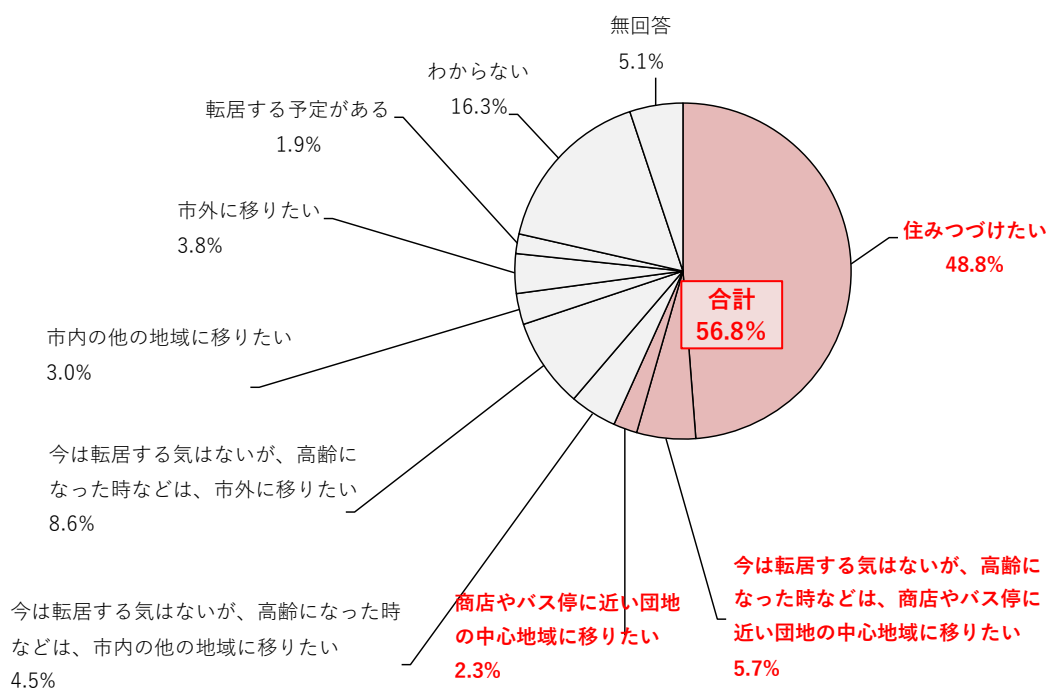


（出展：菱野団地にお住まいの方へのアンケート）

⑦ 居住意向

居住地としての魅力の向上を図り、菱野団地にお住まいの方へのアンケートにおける居住意向において、第6次瀬戸市総合計画における指標値（基準値）と同様の数値を目指す。

【菱野団地にお住まいの方の居住意向】



(出典：菱野団地にお住まいの方へのアンケート)

【第6次瀬戸市総合計画における指標値】

指標名	基準値	指標の出所等
住み続けたいという意向	81.7% (※)	市アンケート調査

※印は、瀬戸市に隣接する県内5市（名古屋市、豊田市、春日井市、尾張旭市、長久手市）の同様のアンケート調査での平均値です。

(出典：第6次瀬戸市総合計画)